マークアップの書籍の話

2016-12-17 @momdo_

個別のテーマ「デザイン」という話ですが

最初は「デザイン」という括りなので、 あまりイケてないウェブサイトを肴にしようと思いましたが、 まあそれはさておき。

「デザイン」とはちょっと外れますが、今回は書籍の話を。

「マークアップ勉強会」という大きな括りからは外れてない と思うので何卒ご容赦。

最近のウェブ関連技術書籍

最近のウェブ関連技術書籍(1)

- 『デザイニングWebアクセシビリティ』
- 2015年7月 発刊
- 著者: 太田良典、伊原力也

- アクセシビリティーの決定版。
- WCAN Winterで間違って(!)伊原さんのスライドに発表者のツイートが出てきましたが、何回でも読み返しましょう。

最近のウェブ関連技術書籍(2)

- 『CSSシークレット』
- 2016年7月 発刊
- 著者:Lea Verou

- CSSのあれやこれやがわかる良著。
- ただし、後半部分はコピペを促すスタンスだ、とする批判も。 (しかしながら、著者はCSS Working GroupのInvited Expert であり、技術的に間違ったことは書いてない)

ここ最近のウェブ技術関連書籍のまとめ

• アクセシビリティー、CSSでかなり信頼できる書籍が近年発行 されている。

が、純粋にマークアップという意味でのHTMLの書籍は?

古い本ならいろいろある…

古い本ならいろいろある(1)

- 『ユニバーサルHTML/XHTML』 2000/11 神崎正英 著
- 正確な解説にして今日でも通用する部分はあるものの、 もはや古典の域かもしれないという程度に発行が古い。

古い本ならいろいろある(2)

- 『Web標準の教科書』2005/7 益子貴寛 著
- マークアップだけでなく、CSS、アクセシビリティーと幅広く 取り扱っている。タグ辞典風味ではあるが正確な記述で ウェブ標準の一端を確かに学べる。
- が、やはり古い…

古い本ならいろいろある(3)

- 『実践 Web Standards Design』 2008/11 市瀬裕哉、福島英児、望月真琴 著
- 仕様に準拠しつつ、実践的なデザインを可能にする本 (日付は再刊行版のほう)
- しかし、もう8年も経つの...

古い本ならいろいろある(4)

- 『カルタ付 HTML5マークアップ 現場で使える最短攻略ガイド』2013/12 浜俊太朗 著
- HTML4/XHTML1からの移行を念頭に置いた本。 当時としてはよく調べられているものの、 W3C HTML5勧告前のものである点に注意。 (それほど大きな差異はないと思うけど)

いろいろな古い本のまとめ

自分の知っている古い本でよいHTMLの本だと思うものは こんな感じ。

最近(W3C HTML 5.0勧告以降)のよいHTMLの本を知らない。

多分、ないと思いますが(ご存じの方います?)

ないなら、自分で作るしかない…?

とは言ってもいきなり本は作れないので

本当に"HTMLの本"が一般流通にのるような技術書は無理 としても、ウェブサイトでコンテンツを作ることはできる。

できるはずだけど、まだコンセプトが固まっていない…。

HTMLなサイトのコンセプト?

- 本当にHTMLだけなのか、HTMLとその周辺なのかという問題。
 →サイトで膨らませていく分には書くのが辛くなるだけだが、
 書籍という形態は物理的な紙面のスペースがあり。
 →むしろ、どこまで掘り下げていくのか
- 誰を対象とするのか? (読者想定)→おそらくウェブ制作会社で実際にHTMLコードを書く人、というのが一番マスが大きいと思うが、レベル感が掴めない。
 - べつにフロントエンドだけでなく、バックエンドの人だって 必要に迫られて書くことはあるよね、という見方もある。
 - 学生さん向けというのもありですね!

まとめ

- 最近発行されたよいHTMLの本ってないですよね(たぶん)
- ないならまずはHTMLなサイトを自分で作るしかない?
 - でもまだコンセプトが固まってないという話

質問あります?



@momdo_

アンダースコアに注意! 人によってはノイズです。



Git Hub https://github.com/momdo

W3C仕様書等翻訳置き場。誤訳指摘歓迎。



http://momdo.hatenablog.jp/

ウェブ技術関連のみを取り扱います。 月1回の更新を目指しています。